

## 先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム) 実績報告書

本様式の内容は一般に公表されません

研究課題名	グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題
研究機関・ 部局・職名	金沢大学・医学系・助教
氏名	日比野 由利

1. 研究実施期間 平成23年2月10日～平成26年3月31日

2. 収支の状況

(単位:円)

	交付決定額	交付を受けた額	利息等収入額	収入額合計	執行額	未執行額	既返還額
直接経費	57,000,000	57,000,000	0	57,000,000	56,891,488	108,512	0
間接経費	17,100,000	17,100,000	0	17,100,000	17,100,000	0	0
合計	74,100,000	74,100,000	0	74,100,000	73,991,488	108,512	0

3. 執行額内訳

(単位:円)

費目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
物品費	0	368,079	915,409	6,259,990	7,543,478
旅費	0	2,045,690	5,029,657	5,228,030	12,303,377
謝金・人件費等	0	4,815,821	10,158,058	10,275,821	25,249,700
その他	262,500	2,216,230	2,847,005	6,469,198	11,794,933
直接経費計	262,500	9,445,820	18,950,129	28,233,039	56,891,488
間接経費計	0	963,616	5,420,188	10,716,196	17,100,000
合計	262,500	10,409,436	24,370,317	38,949,235	73,991,488

4. 主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機関名
				0		
				0		
				0		
				0		
				0		
				0		
				0		
				0		
				0		
				0		

5. 研究成果の概要

国内でアンケート調査を複数実施した。成果の一部はメディアにも取り上げられ、国民の関心を喚起した。今後、政策決定の基礎データとして活用することができる。また、海外調査を11カ国にわたって実施した。アジアの国々を中心とした生殖補助医療に関する実施調査を伴う基礎データは我が国では乏しく、今後の基礎データとなることが期待される。研究成果の一部として、編著を2冊出版し、報告書2冊、講演録2冊を印刷公表し各方面に配布した。ホームページ及びブログにて研究についての情報を積極的に公開した。また、研究会や講演会を14回に渡って主催・共催し、多数の参加者を得ることができ、関連分野の議論の進展に貢献した。

課題番号	LZ006
------	-------

## 先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム) 研究成果報告書

本様式の内容は一般に公表されます
------------------

研究課題名 (下段英語表記)	グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題
	Commercialization of Reproductive Technology and Reproductive Tourism in the Globalized World: Ethical, Legal and Social Issues.
研究機関・部局・職名 (下段英語表記)	金沢大学・医学系・助教
	Kanazawa University, Faculty of Medicine, Assistant Professor
氏名 (下段英語表記)	日比野 由利
	HIBINO YURI

### 研究成果の概要

(和文):

生殖補助医療のグローバル化や商品化がもたらす生殖ツーリズムの実態を国内外の双方から明らかにした。国内の関係者として、不妊治療医師、不妊患者、周産期医師、児童福祉専門家、小児科医師に対し、アンケート及びインタビューを行った。海外の当事者として、政策関係者、医師、エージェント、不妊患者、代理母、卵子ドナーにインタビューを行った。研究成果は、我が国の生殖補助医療の適正な実施に資するものである。また、研究成果の一部は、ホームページやメディアを通して国民に広く公表された。

(英文):

The present study examined reproductive tourism in terms of the commercialization and globalization of assisted reproductive technology in both Japan and overseas. Data from Japanese individuals were gathered via questionnaires and interviews completed by infertility doctors, infertile patients, perinatal physicians, experts on child welfare, and pediatricians. Data from individuals in other countries were collected via interviews with infertility doctors, agents, infertile patients, surrogates, and egg donors. Our results

will help improve the practice of assisted reproductive technology in Japan. Some of our results have already been highlighted on our website and in the mass media.

1. 執行金額 73,991,488 円  
(うち、直接経費 56,891,488 円、 間接経費 17,100,000 円)

2. 研究実施期間 平成23年2月10日～平成 26 年 3 月 31 日

### 3. 研究目的

我が国では、晩婚化・晩産化が進んでいる。日本は世界随一の不妊治療大国である。不妊治療を受ける患者の高齢化も進んでおり、卵子提供や代理出産、男女産み分けなど、国内では利用できない生殖補助医療を求めて海外、特にインドやタイなどアジアの新興国に渡航する日本人が増えている。その結果、超高齢出産が招来されたり、子どもが帰国できないなどの事例が発生している。グローバル化や生殖補助医療の商品化に伴い、生殖ツーリズムがもたらす倫理的・法的・社会的問題が、我が国に押し寄せている。我が国では、生殖補助医療を規制する法律は存在しない。生殖補助医療の実際の運用は、専門職団体による自主規制に委ねられてきたといえるが、第三者が関与する生殖技術、出生前遺伝子検査など倫理的に高度な判断を要する技術が海外でますます利用されるようになってきた現在、その限界を露呈している。生殖技術のグローバル化や商品化が進行する中、生殖補助医療の適正な実施に向けて我が国が舵取りできるよう基礎データの提供や考察を行う。

(1) 生殖ツーリズムの「利用する側」と「利用される側」の双方の調査に基づいて、生殖ツーリズムの実態を包括的に明らかにする。

(2) 生殖ツーリズムに関する倫理的・法的・社会的問題(ethical, legal and social issues:ELSI)を検討する。

(3) 我が国の生殖補助医療の適正な実施に向けた提言を行う。

(4) 女性や子どもの視点から生殖補助医療のあり方について検討する。

### 4. 研究計画・方法

(1) 国内で、不妊治療医師、不妊患者、周産期医師、児童福祉専門家、小児科医師らにアンケートとインタビューを実施する。

(2) 海外で、政策関係者、医師、エージェント、不妊患者、代理母、卵子ドナーらにインタビューを実施する。

(3) 国内外の生殖補助医療に関する様々な資料や文献を収集し、公開する。

(4) 研究会・講演会を定期的で開催し、生殖ツーリズムや生殖補助医療に対する研究者や国民の関心を喚起する。

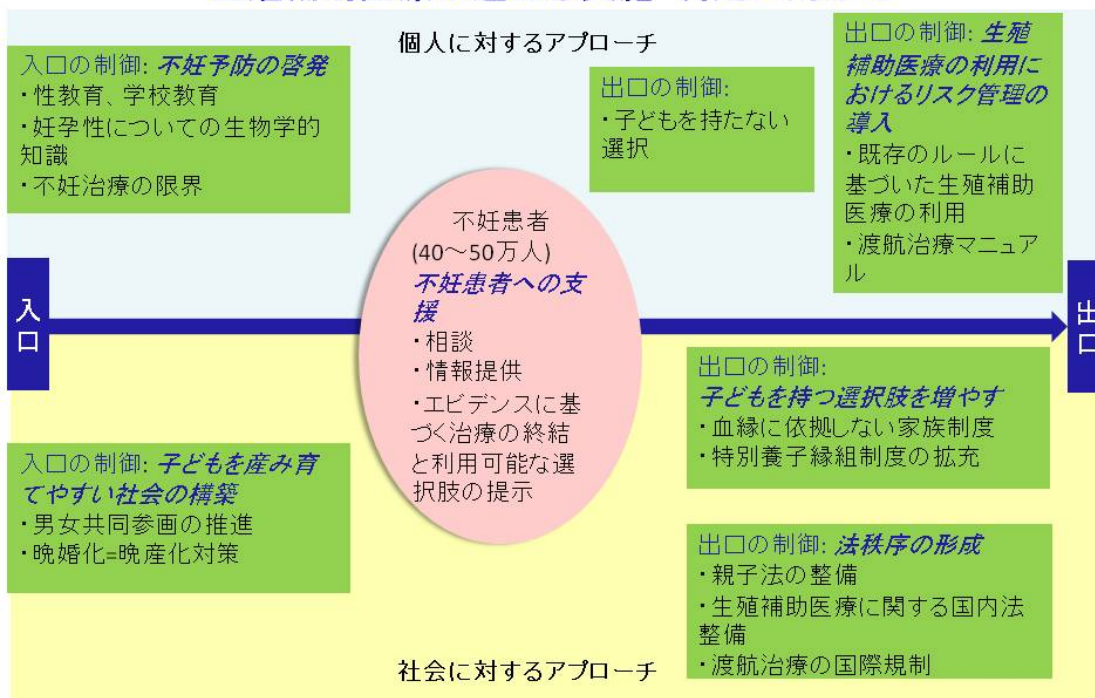
#### 5. 研究成果・波及効果

アジア諸国を中心とする生殖補助医療や生殖ツーリズムについて、横断的にデータを収集することができた。国内で様々な関係者に対し実施したアンケート調査の結果は、報告書として公表し、国内の研究機関や関係者に配布した。我が国において、喫緊の課題でありながら、本格的な議論が不足していると考えられた卵子提供の制度設計のあり方について、公開報告会を開催し議論した。折しも生殖補助医療の法制化が進められているところであり、時宜にかなった研究プロジェクトとなった。

生殖補助医療の制度設計のみならず、不妊やリプロダクションの全体像を視野に入れて包括的に制度改革を行っていくべきとの提言を行った(下図参照)。具体的には、1. (海外で日本人間の卵子売買が行われているという実態をふまえ)国内で卵子提供の実施できるよう制度化を行うべきこと。その際は、子の出自を知る権利を担保できるよう情報管理のシステムの創立が不可欠であること。2. 加齢による不妊の予防策を講じるべきであること。3. 不妊治療の代替選択肢の一つとして、養子・里親制度を拡充すべきこと。4. 海外で行われる代理出産について、海外での情勢や推移を踏まえて我が国でさらに突っ込んだ議論がなされるべきであること。

これらの提言は、少子化高齢化が避けられない情勢となっている我が国にとって、不可欠な構造改革であるとの展望を持っている。

## 不妊問題における入口と出口の制御 ～生殖補助医療の適正な実施・利用に向けて～



6. 研究発表等

<p>雑誌論文 計 12 件</p>	<p>(掲載済み一査読有り) 計 10 件</p> <p>日比野由利 「インドの商業的代理出産と法規制」『産科と婦人科』 診断と治療社 2011 78(4) : 497-503.</p> <p>日比野由利 「アジアの生殖医療サービス—インドの商業的代理出産」『わたしの 21 世紀』 2011 No.66 : 10-13.</p> <p>日比野由利 「タイへのメディカル・ツーリズムと生殖産業」『産科と婦人科』 診断と治療社 2012 79(1): 94-101</p> <p>白井千晶・日比野由利 「卵子提供および海外渡航治療に対する医師の意識調査からみえること」『臨床婦人科産科』『日本医学雑誌』2012; 66(2) : 186-192.</p> <p>日比野由利・島藺洋介・神林康弘・人見嘉哲・荻野景規・中村裕之 「卵子提供に対する医師・不妊当事者の意識と実態」『日本予防医学会雑誌』 2012; 7(2): 49-58.</p> <p>日比野由利 「アジアの生殖医療」『臨床婦人科産科』 2012;66(11):1018-1024.</p> <p>白井千晶・日比野由利 「卵子提供および海外渡航治療に対する医師の意識調査からみえること」『臨床婦人科産科』 2012; 66(2) :186-192.</p> <p>日比野由利・島藺洋介・神林康弘・人見嘉哲・荻野景規・中村裕之「卵子提供に対する医師・不妊当事者の意識と実態」『日本予防医学会雑誌』 2012;7(2):49-58</p> <p>Yuri Hibino, Yosuke Shimazono. Becoming a surrogate online: “message board” surrogacy in Thailand. Asian Bioethics Review. 2013;5(1):56-72</p> <p>Yuri Hibino, Yosuke Shimazono, Kambayashi Yasuhiro, Hitomi Yoshiaki, Hiroyuki Nakamura. Attitudes towards cross-border reproductive care among infertile Japanese patients. Environmental and Preventive Medicine. 2013;18(6): 477-484.</p> <p>(掲載済み一査読無し) 計 0 件</p> <p>(未掲載) 計 2 件 Yuri Hibino, Shimazono Yosuke. Impact of egg-donation deliveries from domestic and overseas sources on maternal care: a questionnaire survey of Japanese perinatal physicians.Environmental Health and Preventive Medicine (ahead of print).</p> <p>日比野由利「生殖技術のグローバル化と日本」『医学哲学医学倫理』(受理)</p>
<p>会議発表 計 28 件</p>	<p>専門家向け 計 23 件</p> <p>日比野由利 「タイの医療ツーリズムと不妊産業」 東京 2011年 5月 28日 金沢大学東京事務所 第9回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会) 自ら企画</p>

<p>日比野由利「不妊の入口と出口の統御」東京 2011 年 9 月 4 日 金沢大学東京事務所、第 11 回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会) 自ら企画</p> <p>日比野由利「女性は何歳(いつ)まで産むのかー卵子提供の話題から」金沢 2011 年 12 月 7 日 金沢大学医学類 第 13 回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会) 自ら企画</p> <p>日比野由利「東南アジアの生殖補助医療」東京 2011 年 10 月 15 日・16 日 日本生命倫理学会 (日比野由利・島藺洋介 「生殖ツーリズムにおける“利用する側”と“利用される側”」東京 2011 年 10 月 15 日・16 日 日本生命倫理学会)</p> <p>日比野由利・今井竜也・島藺洋介・神林康弘・人見嘉哲・柴田亜樹・大滝直人・林宏一・中村裕之 「渡航生殖に関する医師・患者の意識調査」東京 2011 年 12 月 11 日・12 日 日本予防医学会</p> <p>日比野由利・萩野景規・島藺洋介・神林康弘・人見嘉哲・柴田亜樹・中村裕之「第三者生殖技術の利用と渡航生殖に関わる不妊患者の意識と実態」京都 2012 年 3 月 24 日～26 日 日本衛生学会</p> <p>日比野由利 「渡航生殖に関するアンケート調査結果」第 15 回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 2012 年 4 月 27 日 東京大学本郷キャンパス 東京 自ら企画</p> <p>日比野由利 「インド女性の語りからみたインドの第三者生殖技術の現状・プロセス」第 17 回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 2012 年 9 月 7 日 東京大学本郷キャンパス 東京 自ら企画</p> <p>日比野由利 「周産期医療における超高齢出産の実態と周産期医師の第三者生殖技術に関する意識」第 20 回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 2012 年 12 月 14 日 東京大学本郷キャンパス 東京 自ら企画</p> <p>日比野由利・野辺陽子(公募シンポジウムオーガナイザー)「生殖ツーリズム構造からの脱却」第 24 回日本生命倫理学会 2012 年 10 月 27 日-28 日 京都</p> <p>日比野由利 「タイの生殖医療と第三者生殖技術の『利用される側』としてのタイ女性の経験」第 53 回日本母性衛生学会 2012 年 11 月 15 日-17 日 福岡</p> <p>日比野由利・島藺洋介・藤田真樹・神林康弘・柴田亜樹・三苫純子・山崎政美・人見嘉哲・中村裕之「渡航不妊治療の現状と問題点」第 10 回 日本予防医学会 2012 年 11 月 24 日-25 日 広島</p> <p>日比野由利・島藺洋介・藤田真樹・神林康弘・柴田亜樹・三苫純子・山崎政美・人見嘉哲・中村裕之「周産期医師の卵子提供分娩に対する認識」第 83 回 日本衛生学会 2013 年 3 月 24 日-26 日 金沢</p> <p>日比野由利「渡航治療の現状と問題点」不妊症看護認定看護師ポストコース 2012 年 11 月 3 日 聖路加看護大学</p> <p>島藺洋介・日比野由利 「不妊患者の卵子提供に対する意識: 第三者の関与する生殖補助医療に関するアンケート調査の結果から」第 57 回 日本生殖医学会 2012 年 11 月 8 日-9 日 長崎</p> <p>藤田真樹・日比野由利・島藺洋介・中村裕之 「インドの商業的代理懐胎における法的・倫理的問題」第 10 回 日本予防医学会 2012 年 11 月 24 日-25 日 広島</p>
--



	<p>島菌洋介・日比野由利・中村裕之「不妊患者の卵子提供に対するニーズ アンケート調査の結果の分析から」第10回 日本予防医学会 2012年11月24日-25日 広島</p> <p>島菌洋介・日比野由利・中村裕之「卵子提供における匿名性と非匿名性:不妊患者の意識に関するアンケート調査結果」第83回 日本衛生学会 2013年3月24日-26日 金沢</p> <p>藤田真樹・日比野由利・島菌洋介・中村裕之「生殖ツーリズムをめぐる法的・倫理的問題」第83回 日本衛生学会 2013年3月24日-26日 金沢</p> <p>日比野由利「ベトナムにおける不妊の医療化と第三者生殖技術の現状」第52回 日本母性衛生学会 2013年10月5日 埼玉</p> <p>日比野由利「渡航不妊治療とアジアの生殖医療の実情」(第22回 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会「グローバル化時代の生殖技術と家族形成」) 2013年4月6日 京都 自ら企画</p> <p>日比野由利「不妊患者の卵子提供に対するニーズと選好」(第23回 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会『卵子提供の制度設計を考える』) 2013年9月14日 京都 自ら企画</p> <p>日比野由利「晩産化時代の卵子提供ツーリズムと国内解決法」第33回日本医学哲学倫理学会シンポジウム「医療のグローバル化-臓器移植・生殖補助医療・臨床試験-」2013年10月20日 大阪 歯科大学</p> <p>一般向け 計5件</p> <p>日比野由利 「卵子提供の話題から」 金沢大学まちなかサイエンスセミナー 金沢 2011年12月23日 金沢大学</p> <p>日比野由利・島菌洋介・藤田真樹・牧由佳・中村裕之 「海外での卵子提供・代理出産」金沢大学医学展 2012年 金沢</p> <p>日比野由利「生殖技術のグローバル化と日本」HWRN キックオフシンポジウム(金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー) 2014年1月25日 金沢</p> <p>日比野由利「グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題」最先端開発支援プログラム FIRST シンポジウム 科学技術が拓く2030年へのシナリオ(ポスター) 2014年3月1日 東京</p> <p>日比野由利「晩産化時代の卵子提供ツーリズムと国内解決法」金沢大学まちなかサイエンスセミナー 2014年3月2日 金沢 (ポスター)</p>
<p>図書 計2件</p>	<p>日比野由利編著『グローバル化時代における生殖技術と家族形成』日本評論社 2013年(453598400X) 279ページ</p> <p>日比野由利編著『アジアの生殖補助医療と法・倫理』日本評論社 (4589035790)2014年 211ページ</p>

様式21

<p>産業財産権 出願・取得状況  計0件</p>	<p>(取得済み) 計0件  (出願中) 計0件</p>
<p>Webページ (URL)</p>	<p>「グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題」 <a href="http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/">http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a></p> <p>「生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会[忘備録]」 <a href="http://azuki0405.exblog.jp/">http://azuki0405.exblog.jp/</a></p> <p>Thailand Journal of Law and Policy <a href="http://www.thailawforum.com/articles/Becoming-a-Surrogate-Online.html">http://www.thailawforum.com/articles/Becoming-a-Surrogate-Online.html</a></p> <p>Kanazawa University Research Bulletin <a href="http://www.kanazawa-u.ac.jp/research_bulletin/index.html">http://www.kanazawa-u.ac.jp/research_bulletin/index.html</a>]</p>
<p>国民との科学・技術対話の実施状況</p>	<p>生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会主催:「グローバル化時代の生殖技術と家族形成」(公開研究会 2013年4月6日-7日 於 立命館大学衣笠キャンパス) 対象者: 研究者、メディア関係者、一般参加者 100名(<a href="http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/poster_20130406.pdf">http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/poster_20130406.pdf</a>) 11名の専門家を迎え、グローバル化する生殖技術の現状と、生殖技術を用いた家族形成をテーマとして、公開講演会を開催した。</p> <p>生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会主催:「卵子提供の制度設計を考える」(公開講演会 2013年9月14日 於 キャンパスプラザ京都) 対象者: 研究者、メディア関係者、一般参加者 110名 <a href="http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/poster_20130914_1.pdf">http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/poster_20130914_1.pdf</a>) 10名の専門家を迎え我が国における卵子提供の今後の制度設計をテーマとして、公開講演会を開催した。</p>
<p>新聞・一般雑誌等掲載 計30件</p>	<p>「第三者関与の治療にニーズ 不妊患者への意識調査」『47NEWS 医療新世紀』2012年5月29日 <a href="http://www.47news.jp/feature/medical/2012/05/post-685.html">http://www.47news.jp/feature/medical/2012/05/post-685.html</a></p> <p>「仲介者まかせのリスク」『AERA』2012年7月30日号 58-59ページ</p> <p>「不妊治療 卵子提供のいま」『社会新報』2012年10月3日号 <a href="http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/20121003_syakaishinpou.pdf">http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/20121003_syakaishinpou.pdf</a></p> <p>「生殖補助医療:海外での卵子提供準備、医師半数『対応』」『毎日新聞』2011年9月6日 <a href="http://mainichi.jp/life/edu/child/archive/news/2011/09/20110906ddn012040057000c.html">http://mainichi.jp/life/edu/child/archive/news/2011/09/20110906ddn012040057000c.html</a></p> <p>Babycom Points of view 特別寄稿「アジアでの不妊治療」2012年1月5日 (2012年12月まで掲示) <a href="http://www.babycom.gr.jp/ranshi/ranshi-t.html">http://www.babycom.gr.jp/ranshi/ranshi-t.html</a></p> <p>「いしかわスクエア 金沢大学探訪 『生殖医療 選択肢拡充を』」『朝日新聞』2012年2月29日 29</p>

<p>ページ</p> <p>「卵子提供に関する医師の意識調査」『Medical Tribune』vol.45, no.10, 2012年2月29日</p> <p>「卵子バンク 手探り船出」『朝日新聞』2013年5月2日</p> <p>「不妊治療“卵子提供”の実態とドナーバンク」『NHKジャーナル』2013年5月13日</p> <p>「不妊治療:卵子精子提供 親が子に告知『必要ない』37%」『毎日新聞』全国版 2013年9月7日</p> <p>「不妊治療:卵子・精子提供、親が子に告知『必要ない』37% 金沢大・不妊患者に調査」『毎日新聞』東京版 2013年9月7日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対 不妊患者対象に調査」『下野新聞 SOON』2013年9月12日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対 不妊患者対象に調査」『琉球新報』2013年9月12日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対 不妊患者対象に調査」『京都新聞』2013年9月12日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対 不妊患者対象に調査」『北海道新聞』2013年9月12日</p> <p>「子供に遺伝上の親開示、半数反対」『新潟日報モア』2013年9月12日</p> <p>「卵子・精子の提供受け出産 子どもに通知4割慎重」『西日本新聞』2013年9月13日</p> <p>「精子・卵子提供で出産した子へ 遺伝上の親開示 半数反対」『宮崎日日新聞』2013年9月13日</p> <p>「遺伝上の親 半数『知らせない』精子卵子提供で不妊治療女性」『北國新聞』2013年9月13日</p> <p>「不妊治療女性アンケート 卵子精子提供者の情報 半数、子どもに開示反対」『茨城新聞』2013年9月13日</p> <p>「精子、卵子提供で誕生 子どもへ遺伝上の親告知 不妊治療中の女性半数反対」『静岡新聞』2013年9月13日</p> <p>「遺伝上の親 子に伝えるべき? 不妊治療女性 半数が『反対』」『中日新聞』2013年9月13日</p> <p>「子に情報開示 反対半数 精子・卵子提供 不妊治療患者調査」『愛媛新聞』2013年9月13日</p> <p>「精子・卵子提供で子に 遺伝上の親開示 半数反対」『北陸中日新聞』2013年9月13日</p>
---

様式21

	<p>「卵子提供 『子に伝える』18%」『NHK WEB NEWS』(金沢版・全国版)2013年10月6日</p> <p>「卵子提供編① 卵子提供求め海外へ渡航 ドナーに謝礼金」『日本海新聞』2013年11月14日</p> <p>「卵子提供編① 最後のとりで 年間千人近く渡航か 」『東奥日報』2013年11月21日</p> <p>「卵子提供編① 海外へ『最後のとりで』納得のいく人生送って」『茨城新聞』2013年11月14日</p> <p>「卵子提供編① あくまで選択枝の一つ」『徳島新聞』2013年12月19日</p> <p>「卵子提供編① 卵子を求め海外渡航 日本人留学生がドナー」『岐阜新聞』2014年1月15日</p>
その他	<p>テレビ「海外で卵子提供を受ける女性急増」NHK NEWS WEB (2013年1月10日) (<a href="http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/NHKWeb_%2020130110.pdf">http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/NHKWeb_%2020130110.pdf</a>)</p> <p>テレビ「第23回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 公開報告会『卵子提供の制度設計を考える』」 『IWJ Independent Web Journal』 2013年9月14日 (<a href="http://iwj.co.jp/wj/open/archives/101578">http://iwj.co.jp/wj/open/archives/101578</a>)</p> <p>ラジオ「不妊治療“卵子提供”の実態とドナーバンク」『NHKジャーナル』 2013年5月13日</p>

7. その他特記事項

『生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書Ⅰ インドとタイにおける生殖技術と法整備の現状』229ページ

([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houkoku\\_1.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houkoku_1.pdf))

「海外渡航治療と第三者が関わる生殖技術に対する不妊治療担当医師の意識調査」白井千晶・日比野由利 2011、4ページ

([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/sokuho\\_20110902.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/sokuho_20110902.pdf))

『生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書Ⅱ 渡航治療に関する医師・患者アンケート』205ページ  
([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houkoku\\_2.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houkoku_2.pdf))

『生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書Ⅳ 卵子提供の制度設計を考える 講演録』128ページ  
([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/20130914\\_kouenroku.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/20130914_kouenroku.pdf))

『生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書Ⅴ 講演録』280ページ  
([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/kouenroku\\_20131015.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/kouenroku_20131015.pdf))

『生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書Ⅵ 周産期医師・不妊患者・児童福祉アンケート』195ページ

([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houkoku\\_new.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houkoku_new.pdf))

## 様式21

「精子・卵子・胚の提供をとまなう生殖医療と家族」(仙波由加里、野辺陽子、日比野由利による分担執筆) 28 ページ

([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/pamphlet\\_20140109.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/pamphlet_20140109.pdf))

「卵子提供に対する不妊当事者の意識に関する調査」21 ページ

([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/Report\\_Ovumoffer20130830.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/Report_Ovumoffer20130830.pdf))

「生殖補助技術の対するご意見と不妊治療経験をもつ養親希望者の実態に関するアンケート調査」6 ページ

([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/20131202\\_pure.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/20131202_pure.pdf))

「生殖補助医療技術で生まれた子どもの支援体制についてのアンケート調査」20ページ

([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/shounika\\_20140228.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/shounika_20140228.pdf))

「周産期医療に携わる医師の超高齢出産と第三者生殖技術に対する意識調査」16 ページ

([http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/syuusannki\\_houkokusyo\\_20130115.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/syuusannki_houkokusyo_20130115.pdf))

「インドの代理出産と生殖ツーリズムにおける火急の法的課題」4 ページ

[http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houtekikadai\\_20121025.pdf](http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/houtekikadai_20121025.pdf)

「代理母仲介業を始める元代理母たち」(2012年6月4日)

<http://azuki0405.exblog.jp/15980614/>

「生殖ツーリズム未満: コルカタの代理出産」(2012年10月16日)

<http://azuki0405.exblog.jp/17002430/>

生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会「2014 USA Surrogacy Conference in San Francisco」7ページ

(<http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/image/2014%20surrogacy%20conference%20in%20SF.pdf>)

日比野由利「ベトナムにおける不妊の医療化と生殖ビジネス」『産科と婦人科』(投稿済)

日比野由利「台湾の人工生殖法と卵子提供ツーリズム」『産科と婦人科』(投稿済)

日比野由利「ベトナムにおける生殖テクノロジーと血縁概念」『臨床婦人科産科』(投稿中)

日比野由利「小児科医師の生殖補助医療に対する意識」『小児科臨床』(投稿中)

Hibino Y. Implications of the legalization of non-commercial surrogacy for local kinship networks and Vietnamese society. (投稿中)

Hibino Y. Japanese patients attitudes toward disclosure and right to know their genetic origin of children born through donor conception. (投稿中)

「温かな手で出産を支える社会へ 技術国境を越える時代 海外に頼らない仕組み必要 金沢大学医薬保健研究域医学系助教(社会学)日比野由利氏にきく」『信濃毎日新聞』2014年4月24日

## 様式21

「クローズアップ2014 不妊治療法制化へ 賛否割れる代理出産」『毎日新聞』2014年4月30日

「受精卵だけ『渡航』で男女産み分け」『AERA』2014年5月26日号

「金沢大学助教日比野由利さんが歩いて調べた 越境する生殖医療」『AERA』2014年5月26日号

日比野由利「晩産化時代の卵子提供ツーリズムと国内解決法」甲斐克則編『医事法講座 第5巻 生殖医療と医事法』信山社(予定) 2014年